

「表在型食道扁平上皮癌の臨床病理学的特徴と Actin-Like Protein 6A 発現との関連の検討」 研究実施のお知らせ

1. 研究の対象となる方

先行研究「消化器疾患の経過を決める臨床因子の研究：承認番号 1326」への参加同意を頂いた患者さんのうち、2017年1月以降に当院で表在型食道扁平上皮癌の診断で内視鏡切除を施行した患者さん

2. 研究の目的

ACTL6A (Actin-Like Protein 6A) の発現は、頭頸部や皮膚の扁平上皮癌で予後予測のマーカーになりうる可能性が示されています。今回は、表在型食道扁平上皮癌における臨床病理学的特徴と ACTL6A 発現との関連の明らかにすることで、ACTL6A は内視鏡診断の補助となる、また転移再発リスクを予測するバイオマーカーとなる可能性を検討します。

3. 研究の方法

内視鏡切除した表在型食道扁平上皮癌の検体を用い、免疫染色で ACTL6A 発現を評価し、臨床病理背景と後ろ向きに検討します。

4. 研究期間

研究機関の長の許可日 ～ 2027年12月31日

5. 研究に用いる試料・情報の項目

情報：年齢、生年月日、病歴、治療歴、カルテ番号、血液検査、画像検査（内視鏡、CT検査）

試料：先行研究「消化器疾患の経過を決める臨床因子の研究」で採取した、表在型食道扁平上皮癌の内視鏡切除検体

6. 外部への試料・情報の提供

該当なし

7. 研究組織（試料・情報を利用する者の範囲）

この研究は以下の責任者のもとで実施します。情報の利用者は内科学講座消化器内科学教室の研究者のみです。

【研究責任者】

山梨大学医学部 内科学講座消化器内科学教室 講師

吉田 貴史

8. 試料・情報の管理について責任を有する者

国立大学法人山梨大学

9. 個人情報の取扱いについて

収集したデータは、誰のデータか分からないように加工した上で、統計的処理を行います。国が定めた倫理指針（「人を対象とする生命科学・医学系研究に関する倫理指針」）に則って、個人情報を厳重に保護し、研究結果の発表に際しても、個人が特定されない形で行います。

10. お問い合わせ等について

この研究へのご協力は、患者さんご自身の自由意思に基づくものです。この研究への情報提供を希望されないことをお申し出いただいた場合、その患者さんの情報は利用しないようにいたします。ただし、お申し出いただいた時に、すでに研究結果が論文などで公表されていた場合には、完全に廃棄できないことがあります。情報の利用を希望されない場合、あるいは不明な点やご心配なことがございましたら、ご遠慮なく下記連絡先まで、電話又はFAXにてご連絡ください。この研究への情報提供を希望されない場合でも、診療上何ら支障はなく、不利益を被ることはありません。

また、患者さんや代理人の方のご希望により、この研究に参加してくださった方々の個人情報および知的財産の保護や、この研究の独創性の確保に支障がない範囲で、この研究の計画書や研究の方法に関する資料をご覧いただくことや文書でお渡しすることができます。希望される方は、以下まで電話又はFAXにてご連絡ください。

<照会先および研究への利用を拒否する場合の連絡先>

山梨大学医学部 内科学講座消化器内科学教室 吉田 貴史

TEL：055-273-9584

FAX：055-273-6748